

家庭教育はすべての教育の出発点

家族とのふれ合いを通して、子どもが基本的な生活習慣を身につけ、他者を信頼する気持ちや思いやり、善悪の判断、自立心や社会的なマナーなどを習得していきます。その重要な役割を家庭教育が担っています。さらに、子どもは学校や地域の様々な人たちと関わり、見守られながら成長していきます。

なぜ、親の学びが必要なのか

【親としての「学び」の機会が減少】

- 核家族化（タテの繋がりが弱まる）→**悩みや不安があっても家族に聞く人がいない**
- 地縁の希薄化（ヨコの繋がりが弱まる）→**話す時間がない、話せる人がいない**

【家庭教育の現状と子どもへの影響】

基本的な生活習慣の定着、家庭のルールづくり、親子の接し方など課題がある
→子育てに関してどうしたらよいか心配や不安を感じている保護者が多い

【昨今の課題】

インターネット、スマホ、SNSが及ぼす影響
→子どものところとからだにもたらす影響が心配されている、親としてできることは

成長段階に応じて、保護者同士が学び合う機会が必要です。

- 子どもの発達段階に応じて家庭で大切にすることを学びます。
- 保護者同士のつながりをつくれます。
- 学びを通して自分の子育てについてふり返ります。そして、家庭で大切にしたいことに気づいたり仲間ができたりすることで、子育てに前向きな気持ちを持つことができます。

令和3年度 家庭教育学級「織姫☆彦星キャンパス」開講

多様な講師と充実した講話内容で託児付き学習会（全16講座）を開催。

様々な角度から子育て・親育ちにスポットを当てた学習会を開催し、年間を通して計画的・継続的に学習します。

第1回目の学習会は、6月25日(金)「知りたい！食品添加物のコト」です。

<お問い合わせ>

小郡市役所

子ども育成課 医療・手当係

電話 0942-72-2111（内線 673）

ファクス 0942-72-7481

Eメール syogai-katei@san.bbiq.jp